

五団体合同で賀詞交歓会

各界の六百人超が出席

商品先物取引関係三団体及び在京二取引所は一月四日、午前十時半から東京千代田区の東京會館で「平成十四年合同賀詞交歓会」を実施した。当日は行政、業界、学界、マスコミなど関係者が六百人強出席、商品先物業界の新年の門出を祝った。日本經濟の先行きに波乱が予想されるだけに、新年の挨拶もそれを予感させるかのようなものが多くた。



交歓会はまず、

主催者を代表して東京穀物商品取引所の森實孝郎理事長が「新しい社会経済情勢に対応、小異を捨てて大同につこう」と挨拶。

次いで来賓として農林水産省西藤久三総合食料局長と経済産業省古田肇商務流

通審議官が挨拶した。

その後、森實

開き、中澤忠義理事長、日本商品取引協会柴田幹夫副会長、日本商品先物振興協会二家勝明会長、商品取引受託債務補償基金協会藤田庸右理事長の五氏による鏡開きが行われ、「よいしょ」と酒樽の表蓋が割られた。統いて藤田理事長の音頭で乾杯し、懇談に移り、会場のあちこちで話の花が咲いた。十一時半、東穀協会細金錦生会長の中締めが行われ、十二時には無事、交歓会を終了した。

記者懇親会・二家会長挨拶

二〇〇一年を振り返ると、二十一世紀早々、内外ともにいろいろなことがありました。商取業界も、多忙な一年でした。主務省は、五月から商品の懸案事項所分科会を開催され、大所高所からいろいろご指摘を下さいました。農水省では、所管5取引所と「商品先物市開催され、特に商品先物市場と物流との関係で論議を重ねてこられました。

全商連では、私ども先物協会が提言した制度改善に、商品取引度の改善、商品取引の整備、監査制度の充実、強化、長年の懸案事項である会員役職員の会員間下さいました。農水省では、いって、解決の筋道をつけて下さいました。補償基金協会では、金融界のペイオフ解禁を受けて、より信頼できる補償制度に向けての検討が行われました。先物協会も、信頼性の向

上に向けて、三月、定款に「信用の保持」を加え、制度政策委員会で諸種検討を重ね、主務省並びに全商連や日商協などと提携しながら、会員役職員の移動問題にかかる対応などを含め、具体的に前進してまいりました。それを受け、制度政策委員会の下部組織の一つである会員役職員の会員間問題に伴う諸問題などについて、解決の筋道をつけて下さいました。補償基金協会では、金融界のペイオフ解禁を受けて、より信頼できる補償制度に向けての検討が行われました。第一歩として二〇〇一年四月一日から、申告分離課税

「信頼性の向上」で前进

英知を集め難題に取り組む

つた「信頼性向上に係る小委員会」を格上げ独立させ、取引員の信頼性の向上に向かへ、より一層の充実を図ることとしました。

懸案の委託税制については、不充分ながら、その検討が行われました。第一歩として二〇〇一年四月一日から、申告分離課税

魅力ある市場づくりを
西藤局長の挨拶

昨年、我が国経済は困難な状況に陥りましたが、それが前年を約一割上回りました。

昨年、農林水産省も試練の年でした。その中で、商品先物取引は出来た。そこで商品先物取引所は、商品先物取引所協会を設置

は価格形成の場、リスクヘッジの場として期待されおり、農水省も研究会を開催してきました。

現在は平成十七年度を終年とする制度改革の中間に当たります。先物業界を取り巻く環境も厳しく、すべてが順調ではないと思

います。ですが、信頼性と利便性を向上させ、魅力ある市場づくりに邁進し、飛躍の年になるよう念じています。



世界に通用するシステムを 古田審議官の挨拶

昨年は、大豆ミール、原油なども新規上場されるなど活況を呈しました。しかし、まだまだ改革途上であることをきっちり認識して先に進む必要があるままです。新しい五十年、百年の時



第二は世界に通用するシステムでないと長続きしないということです。そのためには正攻法で市場、商品設計、市場の運用をして欲しいと思います。

に移行することができます。このワントップを大事にし、所期の目的である

「株式取引と商品先物取引の課税の一體化」を目指し、特記すべきこととして全商連と共同で損益通算や税率の軽減について、自民党に改正をいたしました。商取業界全体にかかるものとしては、経済のボーダレス化、世界同時不況の中、国際商品の上場が進みました。五月中で、国際商品取引所でコーエー、関西商品取引所でコーエー指數が、九月十日には東京取引所で待望の原油取引が上場されました。さらに

指數が、九月十日には東京取引所で待望の原油取引が上場されました。これらに多くの変化に対応すべき先取りのマニュアルはあります。マニュアルもない時代に遭遇していることがあります。二十一世紀は始まつたばかりです。われわれは英知を結集して、当面する難題の一つ一つを解決し、果敢に先取りしていく必要があります。

十月十一日には東京穀物商場が開幕します。これまでに上場されてきた商品取引所で大豆ミールが上場されています。これらに